

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	EX572／政治学基礎演習 (Introductory Seminar on Political Science)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	国際政治学の探求		
担当者名 (Instructor)	白鳥 潤一郎(SHIRATORI JUNICHIRO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	LPX2910	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	その他登録		

#### 授業の目標(Course Objectives)

国際政治は激動の時代を迎えている。しかし、そうした時代の変化を的確に把握するためには論理的な思考と歴史や思想に根差した視座が必要となる。本演習から国際政治や外交について考えを深めるきっかけを得て欲しい。また、授業への参加を通じて、文章を読みこなし、報告・議論・コメントカード及びレポート執筆等に関する学術的な能力の基礎を身に付けて欲しい。

International Politics is facing a turbulent era. However, in order to accurately understand such changing times, logical thinking and a viewpoint based in history and ideas are required. The objective of this seminar is to provide students with an opportunity to deepen their thinking about International Politics and foreign policy. Moreover, it is hoped that participation in class will enable students to effectively understand writing and master the fundamentals of academic capabilities with respect to presenting reports, engaging in discussions, and writing comment cards.

#### 授業の内容(Course Contents)

本演習では国際政治学の文献を輪読する。課題量は受講者の人数次第で調整する。第2回以降は事前にコメントカード(400字程度)を提出を求める。各回は、報告担当者が課題文献の内容報告を行い、その後は討論者の問題提起をふまえた全体討論を行う形で授業を進めて行く。

In this seminar, students will read the textbook of International Politics literature which are said to be "modern classics." The volume of assigned literature reading will be adjusted based on the number of participants. Starting from the second session, students will be required to submit comment cards (approximately 400 characters in Japanese) in advance. During each class session, the student in charge of presenting will report on the content of the assigned literature reading followed by an overall discussion.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション／自己紹介／担当決め
2. 『国際政治とは何か』「序章 国際政治への問い」「第1章 国際政治の来歴」
3. 『国際政治とは何か』「第2章 安全保障の位相」「第3章 政治経済の位相」
4. 『国際政治とは何か』「第4章 価値意識の位相」「結章 二十一世紀の国際政治と人間」
5. 『世界政治』プロローグ&第I部 国際社会
6. 『世界政治』第II部 主権 4 ナショナリズム
7. 『世界政治』第II部 主権 5 自決
8. 『世界政治』第II部 主権 6 再評価
9. 『世界政治』第III部 民主主義 7 歴史上の前例と文化的前提条件
10. 『世界政治』第III部 民主主義 8 国際法と外交政策の手段
11. 『世界政治』第III部 民主主義 9 プラリズムとソリダリズムを再考する
12. 『世界政治』第IV部 介入
13. 『世界政治』エピローグ&日本語版へのプロローグ
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各回授業開始までに指定文献(各回15~20頁程度)に目を通していただくことを前提に授業を進める。基礎知識に自信が無い受講者には授業開始前の夏期休暇期間中に参考文献に目を通していただくことを推奨する。特に『国際政治をつかむ 新版』と『国際政治史』を優先するとよいだろう。なお、ゼミ形式の授業は参加者に積極的な発言と活発な討論が期待される。授業準備は授業で発言することを念頭に行なって欲しい。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

コメントカード(20%)／報告(30%)／授業での発言及び議論への参加(30%)／最終レポート(Final Report)(20%)  
上記を基本とするが受講者数次第で調整する。最終レポートは輪読するテキストの書評(4000字程度)を予定している。

#### テキスト(Textbooks)

1. 中西寛、2003、『国際政治とは何か——地球社会における人間と秩序』、中央公論新社 (ISBN:978-4-12-101686-7)
2. ジェームズ・メイヨール、2009、『世界政治 進歩と限界』、勁草書房 (ISBN:978-4-326-35145-9)

#### 参考文献(Readings)

1. 村田晃嗣・君塚直隆・石川卓・栗栖薫子・秋山信将、2015、『国際政治学をつかむ 新版』、有斐閣 (ISBN:978-4641177222)
2. ジョセフ・S・ナイ・ジュニア、デイヴィッド・A・ウェルチ、2017、『国際紛争——理論と歴史 原書第10版』、有斐閣 (ISBN:978-4641149175)
3. 藤原帰一、2007、『国際政治』、放送大学教育振興会 (ISBN:978-4595135040)
4. 中西寛・石田淳・田所昌幸、2013、『国際政治学』、有斐閣 (ISBN:978-4641053786)
5. 小川浩之・板橋拓己・青野利彦、2018、『国際政治史——主権国家体系のあゆみ』、有斐閣 (ISBN:978-4641150522)
6. モーリス・ヴァイス、2018、『戦後国際関係史——二極化世界から混迷の時代へ』、慶應義塾大学出版会 (ISBN:978-4766425345)
7. 白鳥潤一郎・高橋和夫、2022、『現代の国際政治』、放送大学教育振興会 (ISBN:978-4-595-32340-9)

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

<選考方法>

採用人数:13名以内

配当年次:1年次

選考方法:レポート

- ① 題目:志望動機及び授業に求めること
- ② 字数:1000字程度

※初回授業について担当者から連絡するのでパソコンのメールアドレスを必ずレポート内に記載すること。また授業開始前に参考文献の中から少なくとも1冊を読んでおくことを推奨します。

#### 注意事項(Notice)